

● ライフプランって？

将来希望される生活、キャリア、資産形成、健康面を含めた暮らしの希望を設計し、具体化したものをライフプランといいます。家を建てる時に設計図が必要なように、ご希望の人生を送るための設計図をつくることは大切です。ライフプランは、人生においてより良い選択をするための羅針盤となります。

● ライフプラン作成の考え方

「収入＞支出」になることが前提になります。収入とは、「給与」だけでなく、「養育費」「公的な手当」など、手元にくる全てのお金を言います。なるべく借入等を行わず、「収入＝支出＋貯蓄」の構図が描けるよう、自身の現状を洗い出し、将来についての様々な想像をしながら、必要経費の断・捨・離と再配分を行うことがライフプラン作成の一步です。

● 教育費の目安

条件によりかかる費用は様々ですが、教育費の目安は以下の通りです。

種別	年数	公立	私立
小学校	6年	約193万円	約959万円
中学校	3年	約146万円	約422万円
高校	3年	約137万円	約290万円
大学	4年	約244万円	約459万円

※収入によっては、就労援助・支援金、給付型を含む奨学金などの制度が利用できます。

【出典】文部科学省 ・平成30年度子供の学習費調査
 ・国公立大学の授業料その他の費用に関する省令
 ・私立大学等の平成30年度入学者に係る学生納付金等調査について

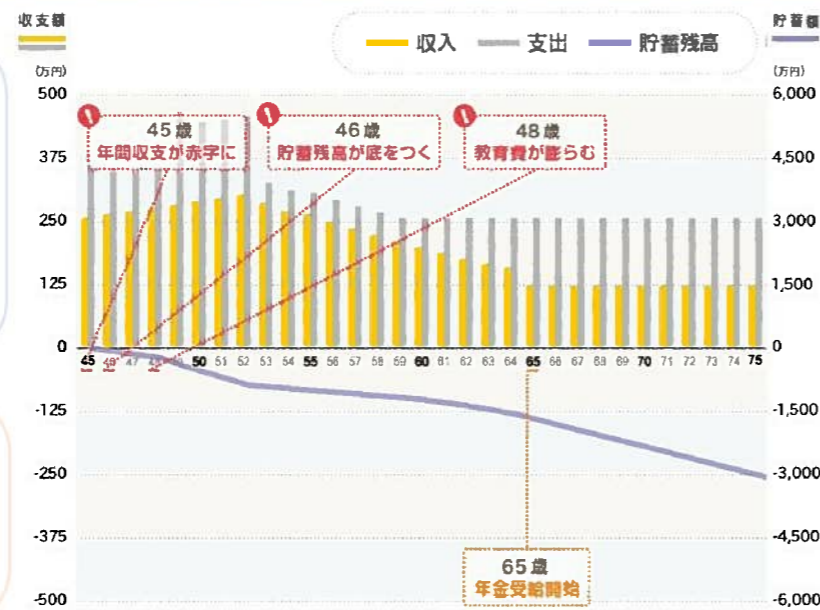
● ライフプランの事例 ※事例は全て30歳で第一子誕生となっています。

Aさんの場合

- 世帯主：40代
- 世帯主：会社員(退職金なし)
- 子ども：1人
- 世帯年収：300万円
- 生活費：20万円/月
- 住居費：5万円/月
- 貯蓄額：100万円

ワンポイント

生活費が高く、収支のバランスが取れていません。必要経費の見直し、収入を上げるための働き方の見直しが必要です。



Bさんの場合

- 世帯主：30代
- 世帯主：会社員(退職金あり)
- 子ども：2人
- 世帯年収：300万円
- 生活費：15万円/月
- 住居費：なし
- 貯蓄額：500万円

ワンポイント

教育費がかさむタイミングで、収支のバランスが崩れます。生活費の見直しで貯蓄額を増やしておくことで安心です。

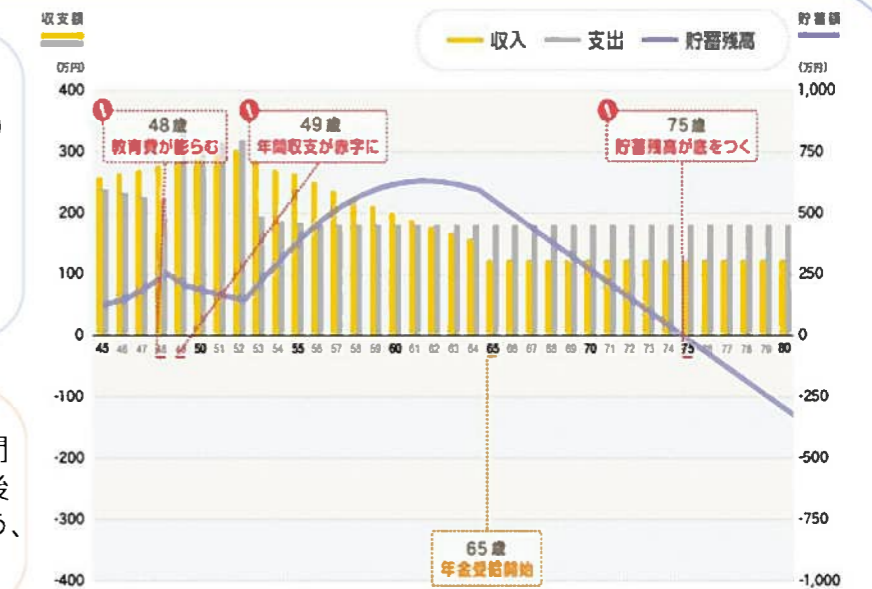


Cさんの場合

- 世帯主：40代
- 世帯主：公務員(退職金なし)
- 子ども：1人
- 世帯年収：300万円
- 生活費：10万円/月
- 住居費：5万円/月
- 貯蓄額：100万円

ワンポイント

お子様の成長に関する期間は、ひとまず安心です。老後の収支が崩れてしまわぬよう、貯蓄をしておくことで安心です。



Dさんの場合

- 世帯主：40代
- 世帯主：会社員(退職金あり)
- 子ども：1人
- 世帯年収：500万円
- 生活費：10万円/月
- 住居費：10万円/月
- 貯蓄額：1000万円

ワンポイント

収支のバランスが取れています。ご自身にもしものことがあった場合の備えを充実させると、お子様の安心につながります。

